

# 平成29年度 マロニエ幼稚園 学校評価報告書

平成29年10月

I. 報告者 幼保連携型認定こども園 マロニエ幼稚園園長 佐久間久枝

II. 趣 旨 平成29年度の学校（幼稚園）評価については、保育舎、幼稚舎の区別をしないで、認定こども園全体として実施した。

その結果については、構成員全員で現状（課題や改善事項）を認識するとともに、今後の保育・幼児教育の取組みや運営に生かす方策を策定する。また、保護者の方々やステークホルダーに公表し、提言等を反映させる。

## III. 自己評価結果報告

1. 実施時期 平成29年9月

2. 点検・評価対象者 認定こども園マロニエ幼稚園に在職する専任教職員

3. 点検・評価項目

【幼稚舎・保育舎】

- (1) 教育目標・教育方針 (2) 教育課程・指導計画 (3) 教育環境 (4) 行事  
 (5) 教職員の役割・資質向上 (6) 特別支援教育 (7) 保健・安全指導 (8) 保護者との連携・情報  
 (9) 子育て支援 (10) 運営管理

4. 集計結果

| 点検・評価項目<br>(大項目・小項目)             | A:よく当てはまる  | B:やや当てはまる。 | C:あまり当てはまらない | D:全く当てはまらない |
|----------------------------------|------------|------------|--------------|-------------|
| <b>I 教育目標・教育方針</b>               | <b>81%</b> | 19%        |              |             |
| 1) わかりやすい                        | 81%        | 19%        |              |             |
| 2) 関係要領等の内容に沿っている                | 81%        | 19%        |              |             |
| <b>II 教育課程・指導計画</b>              | <b>83%</b> | 17%        |              |             |
| 1) 教育目標を生かし作成している。               | 76%        | 24%        |              |             |
| 2) 年齢ごとの当該計画がある。                 | 90%        | 10%        |              |             |
| 3) 当該計画は、見直されている。                | 81%        | 19%        |              |             |
| <b>III 教育環境</b>                  | <b>51%</b> | <b>48%</b> | <b>1%</b>    |             |
| 1) 園児の関心や興味を取入れる。                | 67%        | 29%        | 4%           |             |
| 2) 自然や施設を活用している。                 | 38%        | 62%        |              |             |
| 3) 園児の思いや言動を参考にし保育室の装飾や展示を考えている。 | 48%        | 52%        |              |             |
| 4) 教材、教具を適切に活用している               | 52%        | 48%        |              |             |

|  |     |     |     |    |
|--|-----|-----|-----|----|
| <b>IV 行事</b>   | 56% | 43% | 1%  |    |
| 1) 種類や実施回数は適切である。  | 62% | 38% |     |    |
| 2) 乳幼児の活動を明確にし、自主的・実践的な活動にしている                             | 48% | 52% |     |    |
| 3) 保護者の要望や意見を取入れている。                                       | 62% | 33% | 5%  |    |
| 4) 計画・実施・評価・改善 (PDCA) の体制をとっている。                           | 52% | 48% |     |    |
| <b>V 教職員の役割・資質向上</b>                                       | 62% | 33% | 5%  |    |
| 1) 子どもの発達段階や興味・関心に<br>応じた保育・教育を心掛けている。                     | 76% | 24% |     |    |
| 2) 一人一人を大切に受け止めた指導<br>を心掛けている。                             | 71% | 29% |     |    |
| 3) 相手の思いを受けとめ、豊かな人<br>間関係をつくることのできる子ども<br>を育てるための指導を行っている。 | 76% | 24% |     |    |
| 4) 各種研修会等へ積極的に参加し、<br>その内容を園内に還元している。                      | 24% | 57% | 19% |    |
| <b>VI 特別支援教育</b>   | 43% | 46% | 11% |    |
| 1) 当該園児について、教職員全員で<br>共通理解をはかり、支援体制を整<br>えている。             | 48% | 52% |     |    |
| 2) 医療、福祉等関係機関との連携が<br>適切に図られている。                           | 52% | 38% | 10% |    |
| 3) 発達理解を深めるために、自己研<br>修をし、研修会に参加している。                      | 29% | 48% | 23% |    |
| <b>VII 保健・安全指導</b>   | 51% | 42% | 5%  | 2% |
| 1) 避難訓練・交通安全指導を、計画<br>に基づいて適切に実施している。                      | 71% | 29% |     |    |
| 2) 健康・安全な生活に必要な習慣や<br>態度育成の為、家庭への啓発を行っ<br>ている。             | 52% | 43% |     | 5% |
| 3) 安全確保の為、家庭・地域社会・<br>関係機関等と連携を図っている。                      | 48% | 43% | 5%  | 4% |
| 4) 不審者等に対応する周到的配慮を<br>行っている。                               | 19% | 62% | 19% |    |
| 5) 園舎・園庭の施設・設備の安全点<br>検を計画的に行っている。                         | 67% | 33% |     |    |

|   |            |            |            |           |
|---|------------|------------|------------|-----------|
| <b>VIII 保護者との連携・情報</b>                            | <b>82%</b> | <b>16%</b> | <b>2%</b>  |           |
| 1) 寄せられた具体的な意見や要望に、適切に対応している。                     | 71%        | 29%        |            |           |
| 2) 行事予定やクラス便り、HP等、保護者等を対象とした園の情報を。適切に伝えることができている。 | 81%        | 14%        | 5%         |           |
| 3) 保護者は、園行事に積極的に参加し、協力していただいている。                  | <b>90%</b> | 5%         | 5%         |           |
| 4) 園児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。                     | 86%        | 14%        |            |           |
| <b>IX 子育て支援</b>                                   | <b>81%</b> | <b>14%</b> | <b>5%</b>  |           |
| 1) 保護者の子育てについて相談にのっている。                           | 71%        | 19%        | 10%        |           |
| 2) 未就園児に対して、園庭を開放したり、園に関する情報を伝えている。               | 81%        | 14%        | 5%         |           |
| 3) 保護者の要望に応じた預かり保育が実施されている。                       | <b>90%</b> | 10%        |            |           |
| <b>X 運営管理</b>                                     | <b>40%</b> | <b>38%</b> | <b>18%</b> | <b>4%</b> |
| 1) 保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。                      | 86%        | 14%        |            |           |
| 2) 園内での役割分担が明確である。                                | 67%        | 24%        | 9%         |           |
| 3) 保育舎、幼稚舎相互間で先生方の情報共有及び意見交換ができている。               | 5%         | 67%        | <b>19%</b> | <b>9%</b> |
| 4) 双方の園児との交流が、保育に生かされている。                         | 5%         | 48%        | <b>43%</b> | <b>4%</b> |

注1) 各点検・評価項目（大項目）の集計結果については、さらに細分化された点検・評価項目（小項目）を総合して、その平均値を算出した。

## 5. 評価結果及び課題等

### (I) 【教育目標・教育方針】

本園の憲章となるべき項目であるが、大項目及び各点検・評価項目の2項目ともに、「よく当てはまる」が80%以上の回答となった。

### (II) 【教育課程・指導計画】

本園の保育・教育の基本となる点検項目であるが、大項目については、「よく当てはまる」が、80%以上となっており、各点検評価項目の3項目ともに「よく当てはまる」+「やや当てはまる」の割合において100%の回答となった。

### (Ⅲ) 【教育環境】

大項目及び各点検・評価項目の4項目については、「よく当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が90%以上の回答となった。特に、日常の保育・教育活動における自然や施設の活用及び教材、教具を適切に活用する重要性を十分に認識していることが明らかとなった。

### (Ⅳ) 【行事】

大項目及び各点検・評価項目の4項目については、「よく当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が90%以上の回答となった。特に、PDCAサイクルを踏まえた行事の取り組みは、保護者の方の意見や要望を反映しながら、質の向上を目指すことを長所としたい。

### (Ⅴ) 【教職員の役割・資質向上】

大項目及び各点検・評価項目の3項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が90%以上の回答となった。しかし、「各種研修会等へ積極的に参加し、その内容を園内に還元しているか」については、約2割の教職員が十分ではないと回答している。今後は、繁忙な業務時間を踏まえて、研修発表会等を企画運営することについて検討する。

### (Ⅵ) 【特別支援教育】

大項目及び各点検・評価項目の2項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が90%以上の回答となった。しかし、「発達理解を深めるために、自己研鑽し、研修会に参加している」については、約2割の教職員が十分ではないと回答している。「Ⅴ」と同様、検討する。

### (Ⅶ) 【保健・安全指導】

大項目及び各点検・評価項目の4項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が90%以上の回答となった。園内では、リスクマネジメントとして、啓発や訓練等を定期的に行っているが、不審者等に対する周到な配慮については、やや不足していると一部が回答している。早速、防犯訓練を実施して、今後定期的に企画運営することとした。

### (Ⅷ) 【保護者との連携・情報】

大項目及び各点検・評価項目の4項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が90%以上の回答となった。特に、「保護者の方は、園行事に積極的に参加し、協力していただいている」ことが再確認できた。今後ご協力、ご理解を得るようお願いしていきたい。

### (Ⅸ) 【子育て支援】

大項目及び各点検・評価項目の3項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が90%以上の回答となった。なお、「保護者の方の子育てについて相談にのっている」ことについては、より積極的に対応させていただくことが再認識できた。

## (X) 【運営管理】

大項目及び各点検・評価項目の2項目については、「良く当てはまる」+「やや当てはまる」の割合が90%以上の回答となった一方で、幼稚舎、保育舎間での園児の交流については、保育に生かされていることが十分ではないと教職員の半数が回答している。喫緊の課題として、早急に協議していきたい。

### 5. 総括

集計結果については、個々人の自己点検・評価の結果であり、評価の度合いが異なるが、本園における今後の課題及び改善点、ひいては発展方策としての事項が明確になった。

その結果、点検・評価の大項目10のうち、達成できているもの（分類）として、「A:よく当てはまる」「B:やや当てはまる」に位置付けた場合、100%の回答が2項目、95%以上の回答が6項目、85%以上の回答が1項目、75%以上の回答が1項目にそれぞれ分類された。従って、全体の回答率から判断すると、各点検・評価項目については、概ね達成できているのではないかと評価できる。しかし、昨年度と同様、本園の課題や問題点としては、保育舎、幼稚舎間における運営体制において、教職員相互間の情報共有及び意見交換が必ずしも十分ではないこと、また、双方の園児との交流が、保育に生かされていることが十分ではないことが浮き彫りとなった。このことは、認定こども園のメリットが十分に生かされていないと考えられ、教職員一同が真摯に受け止めなければならない喫緊の課題であることが認識できた。

### ご挨拶

この度の本園における幼稚園評価の結果については、教職員一同が真摯に受け止め、今後も保護者の方々や関係者の皆さまから様々なご意見、ご要望等を伺いながら、質の高い幼稚園運営を目指していく所存です。

それらの目標を達成させるために、本自己点検・評価システムの構築を目指してまいりたいと考えておりますので、皆さまのご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。